

事務事業コード	778110 778210 778310	事務事業名	国分中央高校維持管理事業	担当部	教育部
担当課				国分中央高等学校	
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	管理グループ
施策名	1	学校教育の充実		電話番号	46-1535
基本事業名	7	高等学校教育の推進		内線番号	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 30 年度~)
	項	4	高等学校費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	1	高等学校総務費	根拠法令・条例等	
コード	778110・778210・778310				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手 段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績			
国分中央高校は、「園芸工学科」「生活文化科」「商業科」「情報会計科」「ビジネス情報科」「スポーツ健康科」の学科がある。これらの特性を生かした確かな学力の定着に努め、多様な進路実現を図る。また、豊かな心を育て、地域・保護者から信頼され、期待される学校づくりに努め、魅力ある専門高校づくりを目指す。そのために高等学校運営の円滑な推進、学校施設・設備の不良箇所改善など維持管理に努め、安心安全な教育環境の整備を図る。施設・設備については月1回の安全点検による不良箇所の確認を行い、担当教諭と協議し修繕等を行う。 (平成22年度からイの意図、成果指標を変更)			・駐輪場屋根修繕 ・消火栓配管修理 ・教室蛍光灯トランス取替え修繕 ・加湿器部品取替え修繕等 ・円滑な高等学校運営のための需用費等の支出			
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	安全点検回数	回	12	12	12	12
イ	高度資格取得試験検定回数	回	49	49	50	50
ウ						
③ 対 象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	国分中央高校の施設	箇所	20	20	20	20
イ	国分中央高校の生徒	人	900	905	870	870
ウ						
⑤ 意 図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	不良箇所の改善等により適切な教育環境を実現する。	件	20	17	17	17
イ	進路決定に役立つ学習をする。	%	85	85	86	87
ウ						
⑦ 結 果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)
ア	教育環境が整う	%	84.0	91.0	87.0	87.5
イ	専門性豊かな人材に育つ	人	797	761	440	450

(2) 事業費		単位:千円		(3) 事務事業の環境変化・住民意見等		
	22年度(決算)	23年度(予算)	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 高校設立時から円滑な高校教育の推進が行われている。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 魅力ある専門高校づくりを進めるため、23年度新設学科再編を行う。校舎等の施設・設備の老朽化が激しいため、修繕箇所が増大している。		
予算額	当初予算額	31,977				32,846
	修正及び流用	439				
	予算合計	32,416	32,846	③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 教職員から校舎・体育館等の修繕の要望がある。		
決算額	国庫補助金	0	④ この事務事業に対する議会から出された意見 議会で23年度新設学科に対して質問があった。その中で新設学科「スポーツ健康科」の施設の設備が十分であるのかなどといった意見があった。			
	県支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
	一般財源	31,808				
	支出合計	31,808				

事務事業コード	778110778210778310	事務事業名	国分中央高校維持管理事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1 報酬									
2 給料									
3 職員手当等									
4 共済費									
7 賃金	2,504		2,504	2,304		2,304	2,304		2,304
8 報償費	227		227	898		898	898		898
9 旅費	4,138		4,138	3,844		3,844	3,800		3,800
10 交際費									
11 需用費	21,542		21,542	21,710		21,710	21,555		21,555
消耗品費	5,433		5,433	5,235		5,235	5,230		5,230
燃料費	65		65	75		75	75		75
食料費									
印刷製本費	848		848	700		700	650		650
光熱水費	14,165		14,165	15,000		15,000	14,900		14,900
修繕料	1,031		1,031	700		700	700		700
12 役務費	1,329		1,329	1,343		1,343	1,343		1,343
通信運搬費	873		873	911		911	911		911
広告料									
手数料	288		288	284		284	284		284
保険料	168		168	148		148	148		148
13 委託料	1,614		1,614	1,668		1,668	1,510		1,510
14 使用料及び賃借料	329		329	929		929	929		929
15 工事請負費									
16 原材料費	37		37	55		55	55		55
17 公有財産購入費									
18 備品購入費									
19 負担金補助・交付金	88		88	95		95	95		95
20 扶助費									
21 貸付金									
22 補償補填及び賠償金									
23 償還金・利子・割引料									
24 投資及び出資金									
25 積立金									
26 寄附金									
27 公課費									
28 繰出金									
計	31,808		31,808	32,846		32,846	32,489		32,489

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他								
一般財源	31,808		31,808	32,846		32,846	32,489		32,489
計	31,808		31,808	32,846		32,846	32,489		32,489

補助率	国								
	県								
補助基本額									

平成22年度	当初予算	31,977千円		
	補正及び流用	439千円		
	第1回		第5回	
	第2回(6月)	340	第6回(9月)	
	第3回		第7回(12月)	325
	第4回		流用(3月)	▲226
予算合計	32,416千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	778110778210778310	事務事業名	国分中央高校維持管理事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	円滑な高等学校の運営を行うことや安心安全な教育環境を実現することにより、専門性豊かな人材の育成や充実した高校生活を過ごすことが出来、就職・進学率の向上に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国分中央高校は、霧島市立高校であり、生徒の学校教育については市が事業を行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市立高校を対象としたものであり、適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	施設の老朽化が激しいため、修繕箇所が増大しているため、適切な教育環境はまだ、十分とはいえない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	適切な教育環境を形成するのが難しくなり、専門性豊かな人材の育成や生徒が充実した学校生活を過ごすことが出来なくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	円滑な高等学校の運営をしていくためには、経年劣化による施設の老朽化が著しく、不良箇所の発生件数が増えてきている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事務処理等は必要最低限度の業務時間で対応している。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国分中央高校生等の限定された適切な事業で高校教育として実施しており、受益の機会は公平といえる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	予算の範囲内で、点検し必要箇所を修繕しているが、経年劣化による施設の老朽化が著しく、不良箇所の発生件数が増えてきているのが現状であり、生徒の教育環境の整備は不可欠である。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
予算の範囲内で、点検し必要箇所を優先順位をつけて、修繕し生徒の教育環境の整備を行う。また、光熱水費の削減に努める。	予算の範囲内で、点検し必要箇所を優先順位をつけて、修繕し生徒の教育環境の整備を行う。また、引き続き光熱水費の削減に努める。

事務事業コード	778410	事務事業名	国分中央高校施設整備事業	担当部	教育部
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		担当課	国分中央高校
施策名	1	学校教育の充実		グループ	管理グループ
基本事業名	7	高等学校教育の推進		電話番号	46-1535
				内線番号	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 31 年度
	款	10	教育費		
	項	4	高等学校費	根拠法令・条例等	建築物の耐震改修の促進に関する法律
	目	4	高等学校施設整備費		
コード	778410				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
<p>学校施設の老朽化が激しく、施設の改修箇所が年々増大している。生徒等の教育環境の充実を図るため、施設の改修を行う。昭和56年以前に建築された校舎等で、耐震診断により、耐震力のない校舎等については、耐震補強工事及び校舎改築を行う。また、平成23年度からビジネス情報科・スポーツ健康科を開設するなど時代に即した高校教育を実現する。更に今後の生徒数を確保するためにも施設の整備を進める。</p>	<p>教職員や生徒から体育館が狭くて、使いつらい、第三グラウンドの水はけが悪く改善して欲しいなどの意見がある。</p>	<p>平成20年度議会において、小・中学校の耐震対策についての一般質問があり、その中で高校の耐震対策についても質問があった。平成22年度議会においては、平成23年度から「スポーツ健康科」が開設するにあたり、施設等が充実しているのか、などといった質問があった。</p>

④ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 国分中央高校の生徒	安心安全に教育を受けることができる。	心身ともに充実した高校生活を送ることができる。
イ 教職員		

全体計画 (H21 ~ H31)	平成21年度までの実施状況	平成22年度実績	平成23年度計画
<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の老朽化に伴う改修 耐震化事業 スポーツ健康科開設等に伴う施設の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 第3グラウンド防球フェンス設置工事 消防施設設備改修 2号棟高架水槽修繕 漏水修繕 小畑農場6号温室カーテンフィルム張替え修繕等 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎他耐震補強実施設計業務委託 2号棟高架水槽及び受水槽(通気管設置)補修 受水槽亀裂補修及び4号棟塔屋補修 消火栓ホース取替え修繕 渡り廊下補修 図書館床修繕 渡り廊下電気設備・鍵修繕 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎改築実施設計業務委託 耐震補強工事管理委託 (2号棟・4号棟・屋内運動場) 2号棟校舎他耐震補強工事 4号棟校舎他耐震補強工事 屋内運動場耐震補強工事 第3グラウンド改修工事 受変電設備取替工事
平成24年度計画	平成25年度計画	平成26年度計画	平成27年度以降計画
<ul style="list-style-type: none"> 校舎改築事業 小畑農場水道管敷設工事 第3グラウンド防球フェンス増設工事 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎改築事業 屋内運動場新築事業 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎改築事業 屋内運動場新築工事 	<ul style="list-style-type: none"> 屋内運動場改築事業 体育センター屋根改修工事

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H21 ~ H31)			
	単独	補助	合計
国		30,589	30,589
県			
地方債	1,223,200	357,700	
辺地債			
過疎債			
合併特例債	1,223,200	357,700	1,580,900
その他			
一般財源	232,456	18,988	251,444
計	1,455,656	407,277	1,862,933

	H 22年度 決算 (A)	H 23年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	5,210	70,850	65,640	1260% 増
補正予算額	▲ 2,165		---	---
予算合計	3,045	70,850	67,805	2227% 増
国庫補助金	510	1,471	961	188% 増
県支出金				
地方債	1,400	42,800	41,400	2957% 増
その他				
一般財源	1,135	26,579	25,444	2242% 増
支出合計	3,045	70,850	67,805	2227% 増

単位:千円

事務事業コード	778410	事務事業名	国分中央高校施設整備事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高校

区分	全体計画 (H 21 ~ H 31)			平成21年度までの 実施状況			平成22年度 (実績)			平成23年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の老朽化に伴う改修 ・耐震化事業 ・スポーツ健康科開設等に伴う施設の充実 			<ul style="list-style-type: none"> ・第3グラウンド防球フェンス設置工事 ・消防施設設備改修 ・2号棟高架水槽修繕 ・漏水修繕 ・小畑農場6号温室カーテンフィルム張替え修繕等 			<ul style="list-style-type: none"> ・校舎他耐震補強実施設計業務委託 ・2号棟高架水槽及び受水槽(通気管設置)補修 ・受水槽亀裂補修及び4号棟塔屋補修 ・消火栓ホース取替え修繕 ・渡り廊下補修 ・図書館床修繕 ・渡り廊下電気設備・鍵修繕 			<ul style="list-style-type: none"> ・校舎改築実施設計業務委託 ・耐震補強工事管理委託(2号棟・4号棟・屋内運動場) ・2号棟校舎他耐震補強工事 ・4号棟校舎他耐震補強工事 ・屋内運動場耐震補強工事 ・第三グラウンド改修工事 ・受変電設備取替工事 			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費	1,050		1,050				1,050		1,050				
消耗品費													
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料	1,050		1,050				1,050		1,050				
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料	80,338	32,277	112,615					1,995	1,995	5,450	15,000	20,450	
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	1,374,268	375,000	1,749,268							50,400		50,400	
16 原材料費													
17 公有財産購入費													
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金													
23 償還金利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	1,455,656	407,277	1,862,933				1,050	1,995	3,045	55,850	15,000	70,850	
財源内訳	国		30,589	30,589					510	510		1,471	1,471
	県												
	地方債	1,223,200	357,700	1,580,900					1,400	1,400	30,000	12,800	42,800
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債	1,223,200	357,700	1,580,900					1,400	1,400	30,000	12,800	42,800
	その他												
一般財源	232,456	18,988	251,444				1,050	85	1,135	25,850	729	26,579	
計	1,455,656	407,277	1,862,933				1,050	1,995	3,045	55,850	15,000	70,850	
補助率	国	—		—									
	県	—		—									
補助基本額	—		—										

平成22年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	5,210
補正予算	▲ 2,165
合計	3,045

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	(3月) ▲ 2,165
第3回		第6回			

単位:千円

事務事業コード	778410	事務事業名	国分中央高校施設整備事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高校

区分	平成24年度 (計画)			平成25年度 (計画)			平成26年度 (計画)			平成27年度以降 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量	・校舎改築事業 ・小畑農場水道管敷設工事 ・第3グラウンド防球フェンス増設工事			・校舎改築事業 ・屋内運動場新築事業			・校舎改築事業 ・屋内運動場新築工事			・屋内運動場改築事業 ・体育センター屋根改修工事		
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料		4,800	4,800	51,600	10,482	62,082	3,725		3,725	19,563		19,563
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費	2,728	150,000	152,728		225,000	225,000	528,760		528,760	792,380		792,380
16 原材料費												
17 公有財産購入費												
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金												
23 償還金・利息・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計	2,728	154,800	157,528	51,600	235,482	287,082	532,485		532,485	811,943		811,943
財源内訳	国		11,443	11,443		17,165	17,165					
	県											
	地方債		136,100	136,100		207,400	207,400	452,000		452,000	741,200	741,200
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債		136,100	136,100		207,400	207,400	452,000		452,000	741,200	741,200
	その他											
	一般財源	2,728	7,257	9,985	51,600	10,917	62,517	80,485		80,485	70,743	
計	2,728	154,800	157,528	51,600	235,482	287,082	532,485		532,485	811,943		811,943
補助率	国											
	県											
補助基本額												

事務事業コード	778410	事務事業名	国分中央高校施設整備事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高校

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業を実施し、不良箇所の改善を行い、安心安全で快適な施設を実現することにより、専門性豊かな人材の育成や充実した高校生活を過ごすことができ、就職・進学率の向上にむすびつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国分中央高校は、霧島市立高校であり、生徒の学校教育については市が事業を行う必要がある。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	年次的に計画し、順調に進捗している。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	適切な教育環境を形成するのが、難しくなり専門性豊かな人材の育成や生徒が充実した学校生活を過ごすことが出来なくなる。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	経年劣化による施設の老朽化が著しく、不良箇所の発生件数が増えてきている。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業に係る設計・契約・支払処理等の事務を必要最低限度の業務時間に対応している。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国分中央高校生等の限定された適切な事業で、高校教育として実施しており、受益の機会は公平といえる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	・耐震補強工事を行うための校舎等実施設計業務委託を行った。 ・23年度から「スポーツ健康科」・「ビジネス情報科」を開設したので、魅力ある専門高校としての機能を充実するため、さらに施設の整備を進めていく必要がある。 ・体育館などのその他の施設についても、施設の老朽化が激しいため、大規模な改修工事が必要とされることから優先順位をつけて、年次的に整備していく必要がある。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	・23年度は、校舎等の耐震化事業として耐震工事を行う。また、3号棟校舎は耐震補強計画の結果、改築工事を行う。 ・第3グラウンドの改修工事を行う。

事務事業コード	778211	事務事業名	国分中央高校農場管理事業	担当部	教育部
担当課				担当課	国分中央高等学校
政策名	4	育み磨きあうまちづくり		グループ	管理グループ
施策名	1	学校教育の充実		電話番号	46-1535
基本事業名	7	高等学校教育の推進		内線番号	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ
	款	10	教育費		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 S 44 年度~)
	項	4	高等学校費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~)	
	目	2	高等学校管理費	根拠法令・条例等	
コード	778211				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <Do>

① 手段 (事務事業の概要)		主な活動	平成22年度実績				
園芸に関する基礎的・基本的な知識と技術を学ぶとともに、植物バイオ・情報処理等の先端技術技術を習得し、近代的・科学的な判断のできる農業経営者や農業の理解者になることを目指す。そのために園芸工学科生徒の授業・農業実習として、小畑農場の適切な管理と学校施設・設備の不良箇所改善など維持管理に努め、安心安全な教育環境の整備を図る。安全点検による不良箇所の確認を行い、担当教諭と協議し修繕等を実施する。 (平成22年度からイの意図、成果指標等を追加)			<ul style="list-style-type: none"> ・小畑農場5号温室天窓制御盤修繕 ・小畑農場7号温室天窓用減速機修繕 ・小畑農場4号温室自動突き出し窓制御子器取替修繕 ・小畑農場外線取替え修繕他 				
② 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	安全点検回数	件	12	12	12	12	
イ	生産物売上高	千円	4,230	4,189	4,169	4,260	
ウ							
③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 対象指標 (③対象の大きさを表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	国分中央高校の施設	施設数(施設台帳)	箇所	18	18	18	18
イ	国分中央高校の生徒	生徒数	人	900	905	870	870
ウ							
⑤ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑥ 成果指標 (⑤意図の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	不良箇所の改善等により適切な教育環境を実現する。	施設・設備の修繕件数	件	20	16	18	18
イ	農業実習を通じて農業関係企業の就職や農業系の進学者数を増やす	卒業生のうち農業関係企業の就職者数や農業系学校の進学者数	人	1	6	7	8
ウ							
⑦ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)	⑧ 上位成果指標 (⑦結果の達成度を表す指標)	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(見込)	
ア	心身ともに充実した高校生活が出来るようになる	就職・進学率	%	96.2	95.4	94.0	95.0
イ							

(2) 事業費

単位:千円

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

予算額	当初予算額	22年度(決算)	5,277	23年度(予算)	5,740	① この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始されたのか? 園芸工学科があることから生徒の授業・農業実習として始まった。また、農場新設から施設の維持補修が始まった。	② 事務事業を取り巻く環境は、開始時期又は5年前と比べてどう変わったのか? 草花等の育成に地下水を利用していたが、ここ2、3年で草花等の生育が順調でない原因を調査したところ、水質検査でアルカリ度が高いことがわかった。
	補正及び流用	616					
	予算合計	5,893	5,740				
決算額	国庫補助金	0			③ この事務事業に対して誰からどんな意見や要望が寄せられているのか? 園芸工学科の教諭から草花等の生育に水道水を使用したいとの要望がある。また、施設の老朽化が激しく改善してほしいとの要望がある。	④ この事務事業に対する議会から出された意見 特に無し	
	県支出金	0					
	地方債	0					
	その他	4,189					
	一般財源	1,583					
支出合計	5,772						

事務事業コード	778211	事務事業名	国分中央高校農場管理事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校

単位:千円	平成22年度(決算)			平成23年度(当初予算)			平成24年度(見込)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
1	報酬								
2	給料								
3	職員手当等								
4	共済費								
7	賃金								
8	報償費								
9	旅費	111	111	140		140	135		135
10	交際費								
11	需用費	4,200	4,200	3,884		3,884	4,210		4,210
	消耗品費	2,230	2,230	2,000		2,000	2,300		2,300
	燃料費	398	398	416		416	410		410
	食料費								
	印刷製本費								
	光熱水費	650	650	688		688	680		680
	修繕料	922	922	780		780	820		820
12	役員費	511	511	524		524	562		562
	通信運搬費	39	39	42		42	40		40
	広告料								
	手数料	271	271	240		240	280		280
	保険料	201	201	242		242	242		242
13	委託料	744	744	751		751	751		751
14	使用料及び賃借料								
15	工事請負費								
16	原材料費	97	97	97		97	100		100
17	公有財産購入費								
18	備品購入費			220		220	200		200
19	負担金補助・交付金	27	27	27		27	27		27
20	扶助費								
21	貸付金								
22	補償補填及び賠償金								
23	償還金・利子・割引料								
24	投資及び出資金								
25	積立金								
26	寄附金								
27	公課費	82	82	97		97	97		97
28	繰出金								
	計	5,772	5,772	5,740		5,740	6,082		6,082

財源内訳	国								
	県								
	地方債								
	辺地債								
	過疎債								
	合併特例債								
	その他	4,189	4,189	4,169	4,169	4,400	4,400		
一般財源	1,583	1,583	1,571	1,571	1,682	1,682			
計	5,772	5,772	5,740	5,740	6,082	6,082			

補助率	国							
	県							
補助基本額								

平成22年度	当初予算	5,277千円		
	補正及び流用	616千円		
	第1回		第5回	
	第2回		第6回	
	第3回		第7回	
	第4回(8月)	390	流用	226
予算合計	5,893千円			

平成22年度 財源内訳の「その他」の内訳	
生産物売払収入	
参加費等の事業実施のための収入説明	

事務事業コード	778211	事務事業名	国分中央高校農場管理事業	担当部	教育部
				担当課	国分中央高等学校

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	小畑農場の修繕を実施し、不良箇所を改善を行い、安心安全な施設を実現することにより、専門性豊かな人材の育成や充実した高校生活を過ごすことが出来、就職・進学率の向上に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国分中央高校は、霧島市立高校であり、生徒の学校は教育については市が事業を行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 ・対象や意図を限定又は追加すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある	霧島市立高校を対象したものであり、適切である。
B 有効性 評価	④ 成果の向上余地 ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向上させることができるか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない(十分に成果が出ている) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	施設の老朽化が激しいため、修繕箇所が増大している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	適切な教育環境を形成するのが難しくなり、専門性豊かな人材の育成や生徒が充実した高校生活を過ごすことが出来なくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ・目的を達成するためには、この事務事業以外の手段はないか? ・類似事業との統廃合や連携を図ることにより成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない <input type="checkbox"/> 他に手段がある <input type="checkbox"/> 統合できない <input type="checkbox"/> 連携できない <input type="checkbox"/> 統合できる <input type="checkbox"/> 連携できる	(他に手段がある場合の事務事業名等)
C 効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	経年劣化による施設の老朽化が著しく、不良箇所の発生件数が増えてきている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか? ・成果を下げずに職員以外の対応や委託をできないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事務処理等は必要最低限度の業務時間で対応している。
D 公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? ・受益者負担が公平公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	国分中央高校生等の限定された適切な事業で高校教育として実施しており、受益の機会は公平といえる。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	必要などを修繕しているが、7月の豪雨時の災害には補正予算で対応したところもあった。経年劣化による施設の老朽化が著しく、不良箇所の発生件数が増えてきているのが現状であり、生徒の教育環境の整備は不可欠である。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 廃止又は休止すべきとした場合の理由
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] <input type="checkbox"/> 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑨の結果] <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	

(3) 具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか	
① 平成23年度の取組み概要及び期待される効果	② 平成24年度に取り組むべき具体的な内容
ビニールハウス循環栓修繕など予算の範囲内で、点検し必要などを優先順位をつけて、修繕し生徒の教育環境の整備を行う。また、生産物売払収入を増やす努力をしたい。	ビニールハウス自動カーテン装置部材取替え修繕など予算の範囲内で、点検し必要などを優先順位をつけて、修繕し生徒の教育環境の整備を行う。また、生産物売払収入を増やす努力をしたい。